

## 第16回ゲノム・オミックス連携推進セミナー

### 「ゲノム医科学の進展とプレジジョン医療の推進」

角田 達彦 先生

東京医科歯科大学 難治疾患研究所 医科学数理分野 教授

【日時】 12月4日（火） 15：30～16：45

【場所】 東北メディカル・メガバンク棟 3階 大会議室

#### 【セミナー要旨】

講演者は、オーダーメイド医療、今で言うプレジジョン医療の推進を意識して、ゲノム解析手法、ゲノム科学、そしてゲノム医科学の研究を進めてきました。マイクロアレーを用いた全遺伝子発現による、がん遺伝子探索や治療応答予測モデルの構築から始まり、世界初のゲノムワイド関連解析（GWAS）への貢献や全染色体上の連鎖不平衡地図の構築、国際HapMap計画への参画と、それによる世界のGWASの推進、バイオバンクジャパンにも後押しされた生活習慣病関連遺伝子発見へと研究を展開しました。続き、急速な進展をとげている次世代シーケンサー技術を用いた世界初の日本人全ゲノム解析、がん全ゲノム解析を行ってきました。さらに、がんを中心としたマルチオミクス解析、そしてそれを縦に繋げるトランスオミクス解析へと時代は進んでいます。その目指す先は、予測モデルによる個別化医療と先制医療であり、現在は、がん免疫などにチャレンジしています。これらを俯瞰するとともに、研究の将来像について、そして医療の未来像について議論したいと思います。

連絡先：[seminar@gpc.megabank.tohoku.ac.jp](mailto:seminar@gpc.megabank.tohoku.ac.jp)

（東北メディカル・メガバンク機構 ゲノムプラットフォーム連携センター）